



広葉樹材の  
利活用を  
中心とした

# 「木の町」蘇生プロジェクト

令和5年度 広葉樹材利活用/林業成長産業化推進関連事業費 2,200万円

南会津町は、総面積(約886km<sup>2</sup>)のうち90%以上を森林が占め、昭和30年代には優良広葉樹材の生産地として年間の素材生産量が約32万m<sup>3</sup>、林業従事者も6,000人以上いましたが、近年(平成27年)では、素材生産量は約3万m<sup>3</sup>、林業従事者数は約200人ほどまで落ち込みました。しかしながら、過去に培われた広葉樹大径材の製材をはじめ、家具、その他木製品製造等の木材加工業が小さいながらも現在まで継承されており、この活用・発展が急務です！

## 森林・林産業振興の拠点施設「きとね」がオープン！！

森林整備を担う事業者と、木材の加工・利用を担う製材所や木工所、工務店などが連携し、町産材の供給・製造・商品化・販売までの流れを構築し、地域経済の活性化を目的としたみなみあいづ森と木の情報・活動ステーション「きとね」が令和4年4月にオープン！



### <きとねの特徴>

- 延床面積...820.59㎡(木造)
- 構造材...SGEC認証材かつJAS構造材
- 町産材使用量...283.68㎡
- フローリング・家具等に10種類の広葉樹を使用(ウグイス、トナリ、カシ、クリ、スギ、カ、セ、ナラ、ブナ)
- 木材利用によるCO2固定量...168.45t-CO2

縦ログ、重ね梁を構造に用いて町内事業体で施工した施設、シェアオフィスにより民間事業体が連携できる施設、木育スペースにより森林・林業・木材を身近なものとして実感できる施設、南会津町産材を活用し町内の木工所等で製作した家具類を設置した施設・・・

この「オール南会津」の施設を核として、「木の町」蘇生に向けた取り組みを実施します。

## 寄付金は「木の町」蘇生に向けて次の取り組みに活用します！！

### 広葉樹材供給ステーション運営

本町の広葉樹材の在庫情報等を中心に集約・発信するWEBサイトを運営し、取引の活性化と資源の有効利用を図ります。

あわせて、広葉樹の利用動向調査や、より高値で取引できるよう採材研修を進めます。



### 広葉樹材利活用推進事業

きとねを中心に森林・林業・木材産業をPRする各種イベントを開催し、木材等に親しみを持ってもらふことや、新たなビジネスマッチングを創出します。



### 林産業雇用促進事業

森林・林業・木材産業のこれからの担う人材を確保し、林業成長産業化を推進するため、技術職員を新たに雇用する林業事業体を支援します。



このほか、森林管理に向けた施業地集約や路網整備、素材の安定生産や流通体制強化への支援、新商品開発への支援、鳥獣害対策も踏まえた里山林整備の充実強化など、「森づくり」「人づくり」「産地づくり」の取り組みを進めてまいります。

企業の皆さま、ご支援・ご協力をお願いいたします！